



スーパーフォーミュラ・ライツ選手権 Rd6 Okayama Race Report

2022/9/24-25

有限会社 坂下組

ASURA
edutech

AUTISTA
RACING EQUIPMENT

Final Lap
Body Coating Studio

CUBE
CONSTRUCTION
TOTAL SYSTEM

ピュアカーニング
Quality, Value, Ecology & Smile
コインタッドール

air-J

K&C
KOBAYASHI
DENTAL CLINIC

9999

EMC インパイヤ自動車株式会社

SEV

Arai
HELMET

Tipo

早くも最終大会となった SFL。来シーズンに繋げられるレースができるように意識して取り組んでいきました。

予選 第 16 戦 5 位 第 17 戦 6 位 晴れ/ドライ

土曜日の朝に予選が行われました。練習走行では雨の影響でほとんどドライのテストができず、少ないデータの中でアタックしていきました。1 セット目はそれほど悪くないラップでしたが、2 セット目に向けて変更したセットが噛み合わず後方に沈んでしまいました。ドライビング、セット共に引き出しが少なかったのがこの結果に繋がってしまいました。

第 16 戦 決勝 4 位 晴れ/ドライ

土曜日の午後に 25 週の決勝レースが行われました。スタートは悪くなく、第一ヘアピンで隙があったのでオーバーテイクすることに成功しました。その後もペースが良く、前の選手にプレッシャーかけていきましたが、大きな動きもなくチェッカーとなりました。コースの特性的に全くオーバーテイクができないのでスタート後の位置どりが重要だと感じるレースとなりました。

第 17 戦 決勝 7 位 晴れ/ドライ

日曜日の朝に 18 週の決勝レースが行われました。今回のレースでは周りの選手とタイヤの選択を変え、あえて第 16 戦の古いタイヤを選び、最後のレースで表彰台を狙う戦略でいきました。なのでこのレースは非常に厳しいレースペースとなりました。その中でもセットアップの方向性やドライビングに集中して次のレースをイメージしながら周回を重ねていきました。

第 18 戦 決勝 3 位 晴れ/ドライ

日曜日の午後に 18 週の決勝レースが行われました。タイヤが周りより良い状態となったため、1 周目に集中していきました。その結果 1 つ順位を上げ、3 位となりました。前の 2 台も必死に追いかけていましたが、同等のペースで走行していたため追いつくことができませんでした。狙っていた表彰台を獲得することができ、最低限のレースとなりました。

スポンサーの皆様へ

今回も沢山の応援をありがとうございました。シリーズ4位で終了しました。最終大会ということで優勝したかったですが、苦しいレースとなりました。今シーズンを終えて自分の弱いところがはっきりと見え、チャンピオンを獲得するためには更に上のレベルの選手にならなければいけないと痛感しました。それは今年チャンピオンを獲得した小高選手から沢山のことを学び、感じたレベルの差でした。フルシーズンとして参戦したのは今年が初めてでしたが、この濃い経験を今後のレース活動に活かしていきたいと思います。これからも応援のほど宜しくお願いいたします。

